



録画配信はこちら

# 障がい児者の文化活動の推進について

**Q** 障がい児者の作品展示と音楽発表会の場の提供を

**A** 多様な人々の学びの成果を提供する場の確保に取り組む

## 障がい児者の文化活動とスポーツ活動の推進について

障がい児者の文化活動については、平成30年6月13日に障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が公布・施行された。また、平成31年3月に文科省は障害者による文化芸術活動の推進に関する基本計画を作成した。

**問** 令和4年3月に開催した笑顔でありがとうの写真展示とトークイベントはどうであったか。

**答** (図書館長) この写真展は、3月22日から4月10日まで開催し、481名の参加者があった。3月27日の國森康弘氏のトークイベントに参加された方からは子どもたちの生きる姿に心を打たれたとの感想があった。今後、関係各課や関係団体と連携し、資料の提供や企画展を実施していきたい。

**問** 町における障がい児者の作品展示に関する基



録画配信はこちら

# 庁舎等公共施設の最適配置に関する行政の計画

**Q** 説明会の検証を行い今後活かすことを求める

**A** これまで積み上げてきた内容は最良である

## 新型コロナウイルスについて

**問** 市町ごとの感染者数も把握されず行動制限もないなか、町民の状況を把握しているか。

**答** (くらし安全環境課長) 県で集計されている自宅療養者の日々の情報を共有することで、状況把握している。

**問** 学校・幼稚園・保育園の状況はどうか。

**答** (教育次長) 各学校・幼稚園では、健康アプリ等を活用し、子どもの感染状況を把握している。

**問** 健康相談について

**問** 今年度の新型コロナウイルスについての相談状況と町民が身近に相談できる窓口の継続を求める。

## 健康推進課長

今年度、4月～10月の健康推進課での新型コロナウイルス感染症を含む感染症の電話相談件数は、207件で全体の41.2%を占め身近な相談窓口として対応している。今後も住民の皆様の不安を少しでも取り除けるような対応に努めたい。

**問** ワクチン接種について

**答** (ワクチン接種推進室長) ①集団接種で使用している。②12月6日現在で35.9%。

**問** 子育てエール米の対象者への配布方法を問

**答** (子ども支援課長) 引換券を3,461人に送付した。12月3日(土)・4日(日)、愛知川庁舎と秦荘庁舎で1,837人に休日配布した。12月20日から愛知川庁舎の子ども支援課と秦荘庁舎の農林振興課で引き換える。

## 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

**問** 全ての対象者が5万円給付を受けられるよう、適切な対策を行う事を求める。

**答** (福祉課長) チラシの全戸配布、ホームページ掲載、防災無線の放送で、制度の周知をしている。

## 思いやり駐車区画

**問** 庁舎や町有施設に、思いやり駐車区画の設置を求める。

**答** (経営戦略課長) 施設の整備や改修にあたって、設置を考えていく。



思いやり駐車区画の表示

## 学校給食の無償化

**問** コロナ禍や物価高騰の中で、学校給食の無償化や減免が県内9市町に広がっている。給食は子どもの命綱であり義務教育は無償ということから、学校給食の無償化を求める。

**答** (教育長) 考えていない。

## 庁舎等公共施設の最適配置

**問** 説明会のまとめと検証を行い町民にも公表し、今後活かしていくことを求める。

**答** (町長) これまで積み上げてきた内容は最良であると考えている。

**問** 第2次総合計画・グラウンドデザイン2040・都市計画マスタープランと庁舎等公共施設の最適配置に関する行政の計画との整合性は。

**答** (町長) 関連する計画については、連携を取りながら進めている。

**問** 本格的な考え方や進め方は一人ひとりの特性に応じた多様な学びの機会提供の場である町民文化祭の展示などを通じて、誰一人として取り残すことのない社会的包摂の実現に向けた取り組みを、今後進めていく。



町民文化祭での作品展示

**問** 障がい児者の音楽活動と発表会の支援は

**答** (福祉課長) 音楽活動は、障がいのある方の社会参加というだけでなく、みなさんに福祉に関心をもっていたく機会であると考えている。

**問** 音楽祭等の開催は、年齢を問わず、わかりやすく福祉を理解する機会の一つとなると思うので、開催や支援について何ができるか、協議したいと思う。

## 経口中絶薬の危険性について

**問** お腹の赤ちゃんを町の宝として歓迎する姿勢は

**答** (町長) 命はとても尊いものであり、お腹の中に宿った命こそが、町の宝であり、かけがえない大切な存在であると考えている。

**問** 人生や命は、一人ではなく、多くの関係してくださっている方々の存在によって繋がれている。それゆえに、お腹の中に宿った新しい命、そして命あることへの感謝や、日々、ありがたいと思える社会を築いてまいりたいと考えている。

**問** 愛荘16年教育での胎児の教育は

**答** (教育長) 愛荘16年教育における胎児期からの読み聞かせにより、お母さんとお腹の中の子どもが、ともに安定するとされている。

**問** 胎児期からお母さんやお父さんが読み聞かせを行うことで、愛情をもって子どもと接することのスタートとする意味においても、胎児期からの教育は重要であると認識している。

**問** 昨年12月、厚生労働省に経口中絶薬が承認申請された。

**答** (健康推進課長) この経口中絶薬は、次の点で大変問題があり、危険である。女性の心身に重篤な副作用があり、影響が大きく一生忘れられないトラウマとなる。また、安易に使用される危険性がある。これらのことを、どう考えるか問う。

**問** 今後、経口中絶薬が承認されたとしても、手術を伴う処置と同様、お腹に命が宿った女性の体や心に、相当のダメージを受けることになり、そのため望まない妊娠が避けられるよう、正しい性についての教育と、自分自身を大切にし、相手のことも大事に思える人づくりが重要だと考える。

**問** 命の始まりを大切にす

**答** (町長) 現在実施している妊婦とお腹の赤ちゃんのための事業や、子育てのための事業の継続実施と、産み育てやすいまちづくりとしての施策を引き続き実施する。